

学 習 会

パーキンソン病患者とご家族のための支援制度

パーキンソン病は、体の震えや強張りなどが起きる進行性の難病です。毎日きちんと服薬していないと体が動かなくなったり、命にかかわる重い症状になることもあり、また服薬していても急にオフ（薬が効かない状態）になることもあって、周囲の人に理解されにくい病気です。

治療法の研究は進んでいますがまだ確立されておらず、闘病生活も長期に渡ることから、患者さん本人やご家族に経済的な負担や介護の負担が重くのしかかることも少なくありません。そのため、様々な問題を改善するための支援制度が設けられています。そこで今回は、

国立精神・神経医療研究センター・医療社会事業専門員

東京都医療ソーシャルワーカー協会・理事 青松 貞光 氏

を講師にお迎えし、パーキンソン病患者が受けられる社会的支援制度について、基本的な事柄を事例も交えて分かりやすく解説していただきます。

多くの方々のご参加をお待ちしています。

日 時 2026年6月7日(日) 午後2時～3時30分

場 所 小平市福社会館 4階 小ホール

参加対象 パーキンソン病患者・ご家族、その他 参加希望者

参加費・事前申込 不要 定員 50名

主 催 小平市パーキンソン病友の会

事務局連絡先 (石井) TEL・FAX 042-403-5907



※ 当日は学習会の前に、13:20～ 同会場で小平市パーキンソン病友の会の総会を開催します。友の会会員とご家族はこちらにもご出席ください。

※ 当日はお出かけ前の体調チェックと会場内でのマスク着用をお願いいたします。